


 広報
 №.274

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

 町の世帯・人口
 (平成6年10月末現在)

世帯数	8,741世帯
人口	27,942人
男	14,252人
女	13,690人
10月の人口移動	
出生 41件	死亡 9件
転入 98件	転出 69件
婚姻 12件	離婚 8件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/(協)丸正印刷



西原高校マーチングバンドを先頭にまつりの開催をアピール

出店も人々でにぎわった

として保存すると便利です

はんたまし祭りを開催

— 坂田通り会 —

11月12日、13日の2日間、坂田通り会(前田光則会長)が主催する「はんたまし祭り」が行われました。

これは、坂田通り会が地域経済の活性化をめざし県産業振興公社の平成6年度中小商業活性化事業を受けて取り組んだもの。「はんたまし」は「坂田升」と漢字で書き、坂田という名の由来である字翁長の小字名。祭りの名に「はんたまし」をよみがえらせることで、地域への関心と誇りをもってもらおうというものねらいの一つ。

12日午後には、祭りの主会場となるプリマート坂田店駐車場から坂田小学校までパレードし、祭りの開催を町民や通行の人々にアピールしました。

祭り期間中は、主会場でゲームやロックバンドの演奏、出店、通り会各商店の記念セールなど盛りだくさんの催しがあり、大勢の人々で賑わいました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

「語やびら」文教のまち

西原町各種団体との行政懇談会

「語やびら」文教のまち」をテーマに、西原町各種団体との行政懇談会が、十月二十七日午後、西原共同福祉施設で開催されました。

これは、本町の将来像である「文教のまち」に向けた町民参加のまちづくりを推進するため、町内各種団体の代表者に町政に対する意見・要望等まちづくりについてのアイデアを話し合おうと開催されたもの。町校務研究会や町



▲町内の各種団体31団体が参加した行政懇談会

保護司会など教育や福祉、産業、スポーツなどさまざまな分野の団体三十一団体が参加町からは四役、課長クラスが参加しました。

教育研究所や図書館、博物館、農産物等の加工施設、商工会館、女性総合センターなどの建設や補助金の増額などさまざまな意見や要望が出されました。

これに対し、町は、個々具体的に説明・回答した後、最後に総括の中で、広域行政などで検討したいと述べました。

平安恒政町長は「意見・要望事項には、町で実施済みのもので今後も継続発展させるもの、推進中のもの、構想段階のものなどいろいろな段階のものがあるが、意見・要望の反映には財政の裏付けがすべて。事業効果などを考慮して、事業の優先順位をつけ、できるものから早く取り組んでいきたい」と述べ、「これからも、それぞれの立場で地域

の活性化のため頑張ってください」と参加した各種団体を激励しました。

沖縄都市緑化祭で記念植樹

＝都市緑化コンクール町長賞に 宮城 健さん＝

沖縄都市緑化祭（主催・沖縄県、沖縄総合事務局、市町村）が、十月二十二日午後二時、町中央公民館で開催されました。

これは、沖縄都市緑化祭月間の行事を締めくくると、これまで県内各地で都市緑化コンクールなどが開かれて来

ました。西原東中学校吹奏部や町婦人連合会、

町子供エイサ

ー、ひまわり太鼓らのアトラクションのあと、同公民館前広場で記念植樹があり、主催

団体代表や町立小学校の児童代表らが果木リュウキュウマツや町木ガジュマルなどを植えました。

記念植樹に引き続き、式典が同公民館ホールで行われ、大田昌秀知事（代読）、玉城一夫沖縄総合事務局長（代読）、平安恒政町長があいさつしました。また、都市緑化コンクールの入賞・入選者の表彰も行われ、コンクールの審査結果について中山晋海洋博記念公園管理財団理事長は「周辺と



▲都市緑化祭式典のよう

の調和を考えた都市緑化の方法が増えていく」と講評しました。

式典終了後はタイワンレンギョウなどの苗木の無料配布や、長崎へ沖縄往復航空券などが当たる抽選会が行われ、会場に訪れた六百人近い町民たちも一緒に盛

り上がった都市緑化祭となりました。なお、西原町長賞を宮城健さん（字小橋川二百六十五番地の九）が受賞しました。



▲都市緑化コンクールで西原町長賞を受賞した宮城健さん

運玉森に記念植樹

町制施行十五周年を記念

西原町(平安恒政町長)では、十一月十五日午後二時から、運玉森に緑の豊かさをテーマに、町制施行十五周年記念の植樹祭を行いました。これは、西原のシンボル運

玉森に植樹をすることで、町民ひとり一人の森林(緑)づくりの理解と緑豊かな潤いのある快適なまちづくりに寄与することが目的。町民及び町内事業所から約三百人が参加



▲運玉森に記念植樹をする
平安町長

▲運玉森に500本のリュウキュウマツが植樹された

平安恒政町長はいさつの中で「西原町が、今日、文教のまちとして発展しているのは、去った大戦など戦没者の方々の尊い犠牲なしではありえない。無益な戦争を二度と繰り返すことのないよう町民一人ひとりが平和意識の高揚を図っていきましょう」と述べました。

富春治町議会議長や本土からの遺族団体代表らによる来

平成六年町戦没者追悼式を挙

平成六年町戦没者追悼式が、十月二十八日午後、遺族や関係者ら約四百人が参加して、西原の塔でしめやかに執り行われました。



▲戦没者追悼式で献花と焼香を行う参列者たち

しました。沖繩カントリークラブ駐車場で行われた記念式典で主催者あいさつした平安町長は「運玉森は西原のシンボルとして校歌や町歌にも謳われるほど。これまでも造林事業を行ってきたが、最近山火事で頂上付近の緑が失われてしまった。今年は町制施行十五周年であり、記念事業の一つとして記念植樹を行うことになった。町制施行十五周年にふさ

わしい楽しい記念植樹となるよう頑張りました」と述べました。

来賓あいさつとして、新垣常夫町議会議副議長と宮城政福南部林業事務所長らによる祝辞がありました。

宮平正輝産業課長による植樹方法の説明に引き続き、さっそく参加者たちはスコップなどを手に運玉森に登り、リュウキュウマツ五百本を植樹しました。参加者のなかには初

めて運玉森に登ったひといて、汗をかきかき植樹を終えた後、中城湾沿岸や東シナ海を一望できる景色の素晴らしさに見とれていました。

平成六年度町水道週間 作文・標語で表彰

平成六年度町水道週間作文・標語募集の表彰式が、十月二十五日午後、町役場二階会議室で行われました。

【作文】最優秀賞・仲松智明(西原小四年)、優秀賞・大井好海(西原小四年)、新垣尚美(坂田小五年)

【標語】最優秀賞・郷愛理(西原小五年)、優秀賞・親泊美幸(西原小五年)、与那嶺順一(坂田小五年)、玉城利蔵(坂田小五年)



▲表彰を受けた作文・標語、それぞれの部の最優秀賞・優秀賞受賞者のみなさん

歴史ロマンへのいざない

—'94西原町文化講演会—

'94西原町文化講演会が、十一月三日文化の日の午後、町中央公民館大ホールで開催されました。今回は、考古学者の安里進さんを講師に迎え、

「水稲二期作と尚円王権—金丸はなぜ王権を奪うことができたのか—」をテーマとして約二時間、歴史ロマンに浸りました。



△講師の考古学者・安里進さん

▲熱心に講演を聴く参加者たち

中小企業労働関係講習会を開催

第四十二回中小企業労働関係講習会(主催＝県商工労働部、町、町商工会)が、十一月四日午後、西原共同福祉施設で開催されました。

主催者あいさつで比嘉義典県労政福祉課長は「労使関係をスムーズにするには、パートナーとして互いの信頼を築くことが大切」、平安恒政町長は「労使は



▲講習会のもよう

車の両輪のようなもので協調と健全で平等な関係が大事。きょうの講習会を、これから事業活動に活かしていただきたい」と述べました。

講習会では、山城宗賢県総

主催者あいさつの中で平安恒政町長は「あらゆる機会に文化を学ぶという姿勢は、文化水準の向上や活性化に目に見えない財産となつて大いに役立つ。きょうは、身近で西原町に関わる人物として金丸(のちの尚円王)について学びましょう」と述べました。

上間明文化広報課長による講師紹介に引き続き、さっそく講演が行われました。

講演で安里さんは金丸の王権を握るまでの足跡を説明、「御物城御鎖之側(オモノグスクウザスヌバ)」という金丸脈、政策など権力が集中する役職についたことが王権を奪う直接の要因だが、その後には久米村の人々の力があつた。また、当時の西原は米の二期作が盛んで、生産力、

人が急増していたので、内間の領主となったことで経済的な力を蓄えられたのでは。さらに、米の二期作は、久米村の人々が中国から持ち込んだものと考えられる」と語りました。

講演後は質疑応答がされ、フロアとの活発な意見交換がされました。

合健康増進センター主幹による「運動と健康」、伊是名絹代沖縄婦人少年室室長による「いきいきと働くために」の二つの講習がありました。

山城主幹は健康づくりとしてスポーツを行う場合の諸注意、伊是名室長は社会福祉施設や育児休業法など女性に関連する制度や法律について、それぞれ話してくれました。



子どもたちと町老連の集い

町立西原保育所(添盛初子所長)と町老人クラブ連合会(呉屋安信会長)では、子どもたちと地域の高齢者とのふれあいを通して、敬老精神と世代間交流をしようと、十一月一日午前、町社会福祉センターで交流しました。

西原保育所からは特別保育授業の地域間世代交流として子どもたち二十三人が参加、

町老人クラブ連合会からは十八人が参加しました。歌や踊



▲子どもたちの踊りに高齢者らが手拍子で応えるなど、世代間交流を楽しんだ。

りを披露したり、おやつを食べながらのおしゃべり、一緒にチームを組んでの輪投げなどみんなで仲良く交流しました。

また、保育所の子どもたちから団扇が老人クラブ連合会のみなさんに贈られると、老人クラブ連合会のみなさんからお返しとして色紙が贈られました。



る広報活動として取り組みました。

掲示委員の子どもたちは、「大きなかぶ」と「ねずみの嫁入り」の二つの人形劇を披

贈呈すると、おじいさん、おばあさんからお返しとして手作りの貝のお守りが贈られました。

「九月から人形製作などに取り組んできました。

きようはおじいちゃん、おばあちゃんに

南小の掲示委員が 人形劇で慰問

これは、西原南小学校が、平成五・六年度の二カ年間、文部省及び県教育委員会の道徳教育指定研究校であるため、その一環として行われたもの。掲示委員(指導呉屋美恵子先生、五年生五人、六年生九人)では、全児童に校区の福祉施設

露し、おじいさん、おばあさん方も大喜び。最後はおじいさん、おばあさんも一緒に揃って全員でカチャシーを踊ったり、ティンサグの花の合唱をしました。

また、子どもたちからおじいさん、おばあさんに花束を



▶西原南小学校の掲示委員14人による人形劇に、池田苑のお年寄りたちも大よろこび

愛泉園が開園10周年を迎え、記念式典を開催

池田にある社会福祉法人琉球溢愛会愛泉会(金城吉夫施設長)が、開園十周年を迎え、十月二十八日午後、記念式典と祝賀会が開催されました。

愛泉園は、知的障害者の社会的復帰と技術の取



▲愛泉園開園10周年記念式典の模様

得を目的に昭和五十九年八月一日に開園しました。

式典では、伊佐義一理事長が「十周年を迎えることができたのも関係各機関のみなさんのご協力と励ましのお陰です」と述べ、伊佐理事長からこれまで協力いただいた方々へ感謝状と表彰状の授与が行われました。引き続き来賓祝辞や祝電が披露されました。

祝賀会では、父母の会や園生、職員など関係者による民謡や踊りなど多彩な催しで、開園十周年を祝いました。



年末における犯罪及び事故防止



西原クラブが県社会体育優良団体に

平成6年度県社会体育功労者及び社会体育優良団体表彰式が、10月21日午後、県教育庁で行われ、婦人バレーボールの西原クラブ(城間則子代表)が、社会体育優良団体として表彰されました。

これは、地域や職域でスポーツの健全な普及・発展に貢献し、顕著な成果を挙げた個人や団体を表彰するもの。本町の婦人バレーボールの西原クラブは、結成以来競技の普及や県内各種大会での素晴らしい成績が、県民の模範と評価されました。

表彰式では、嘉陽正幸県教育長から賞状と記念の盾が贈呈されました。

西原クラブのみなさん、受賞おめでとうございます。



西原町スポーツ少年団が受賞

平成6年度の日本スポーツ少年団表彰伝達式が、10月20日午後、那覇市奥武山の体協会館で行われ、西原町のスポーツ少年団(宮里芳男本部長)が表彰されました。

これは、西原町スポーツ少年団が昭和49年の結成以来、青少年の健全育成に尽力してきた功績が評価されたもの。

伝達式では、1団体1個人が表彰され、嘉数昇明県スポーツ少年団本部長から城間則子西原町スポーツ少年団副部長に盾が贈呈されました。



上原棚原の区画整理事業で安全祈願祭

11月4日午後、上原地内で、上原地区緑地擁壁及び宅地造成工事の第1工区と第2工区の合同安全祈願祭が行われました。それぞれの工事内容は次の通り。

上原地区緑地擁壁及び宅地造成工事(第1工区)は(株)丸政土建・(有)高原建設建設工事共同企業体、契約額は242,050,000円で造成面積12,700㎡。

上原地区緑地擁壁及び宅地造成工事(第2工区)は金秀建設(株)・(有)明生建設建設工事共同企業体、契約額は146,260,000円で造成面積22,400㎡。

いずれの工事でも平成7年3月24日まで工期予定。



西原運動公園の整備で合同安全祈願祭

11月2日午後、呉屋地内で西原運動公園の整備にかかる合同安全祈願祭が行われました。

これは、運動公園の整備工事第1工区と第2工区、電気設備工事、給水設備工事の合同安全祈願祭として行ったもの。それぞれ工事請負者と請負金額については次の通り。

西原運動公園整備工事(第1工区)は三善建設(株)・美善産業(株)建設工事共同企業体、140,080,000円。

西原運動公園整備工事(第2工区)は(有)東洋建設・(株)畑建設建設工事共同企業体、134,930,000円。

西原運動公園電気設備工事は三協電気工事(株)・大浜電設・日章電気工事(株)建設工事共同企業体、103,000,000円。

西原運動公園給水設備工事は(有)丸英設備、5,768,000円。

いずれの工事でも平成7年3月31日まで工期予定。



津花波に信号機が点灯

10月20日午前、津花波交差点で信号機の点灯式が行われました。点灯式には、浦添警察署職員、町役場職員、津花波・呉屋の地域住民、小川保育園の園児ら関係者約90人が出席して行われました。

濱元朝金浦添署長、小川良夫町助役、新垣常夫浦添地区交通安全協会副会長らがあいさつ、信号機の設置を祝いました。地域住民を代表して、町田宗助津花波区長が「この交差点は、交通量が多く、信号機の設置を求める声が強かった。これで安心して横断できます」とお礼を述べました。

引き続き小川保育園(田仲美智子園長)のよい子たち35人が、同交差点の渡り初めを行いました。また、同日、宜野湾市我如古と西原町小那覇を結ぶ県道34号と宜野湾—西原線の交差点でも新設信号機の点灯が行われました。

町伝統芸能団をハワイへ派遣

西原町(平安恒政町長)では、町制施行15周年記念事業の一環として、10月14日から5泊7日の日程で、町伝統芸能団をハワイに派遣しました。

これは、琉球文化を通してハワイ沖縄センターの運営資金の造成とハワイ西原町人会等との親善交流を目的に開催されたもので、ハワイ州知事、ホノルル市長らの来賓をはじめ、約1,000人の観客が琉球伝統芸能の真髄を満喫しました。

また、公演のあとのアロハパーティーでは、民謡、フラダンス、カチャーシーなど、相互の芸能交流や平安町長から一世への感謝状の贈呈があり、予定時間を2時間もオーバーするほどの熱気の中で親善交流が繰り広げられました。

なお、ハワイ沖縄センターに1万ドル(約100万円)を運営資金として寄付しました。



税率アップを目指し、本部を設置

町税や国民健康保険税の徴収率をあげようと、西原町では「町自主財源確立推進本部」(本部長平安恒政町長)を設置し、11月8日の夕方から、戸別訪問を行ないました。

これは、町税や国民健康保険税の徴収率向上と町財政の健全化を図るとともに町民への税に対する一層の理解と協力を求めることが目的。不況で税収が落ち込んでいることから、状況把握と徴収率向上をめざし戸別訪問を行ないました。



町文化祭が開幕

町文化協会(平敷静男会長)主催による第3回町文化祭が、町中央公民館と町社会福祉センターを会場に、11月12日に開幕しました。

展示部門と舞台部門に分かれ、展示部門は15日まで、舞台部門は26日から2日間行われました。展示部門では花き園芸、写真、美術工芸、書道、華道など会場いっぱい作品が展示され、参観者の目を楽しませていました。

舞台部門では古典芸能、洋楽、民謡などが披露され、会場につめかけた参観者に感動をあたえていました。



委員十四人に委嘱状を交付

―町健康づくり推進協議会―

十一月十四日午後、町役場二階会議室で、町健康づくり推進協議会の委員委嘱状交付式が行われました。

今回の委員委嘱状交付式は、委員の任期満了に伴うもの。同協議会は、地域住民に密着した総合的健康づくり対策を積極的に推進することを目的として昭和六十二年二月に発足しました。健康診査や健康相談事業、栄養指導、保健衛生組織の育成、健康づくりに関する知識の普及、その他住民



▲町健康づくり推進協議会のもよう

の健康増進に関すること等を審議し、その結果を町長に具申することを任務としています。そのため、保健所等の関係行政機関、保健医療機関、学校や事業所などさまざまな分野の委員で組織しています。委員任期は二年で、今回から十四人となっています。

交付式では、平安恒政町長から各委員に委嘱状が交付され、引き続き協議会がもたれました。協議会では、各委員の紹介がされ、委員による互選の結果、委員長に平良一彦琉球大学教授、副委員長に呉屋定子町商工会長が選出されました。

協議会では、十一月二十六日から二十七日まで町民体育館で開催される「健康まつり」での取り組みなどが協議されました。

なお、委員のみなさんは次の通り(敬称略)。

▽平良一彦(委員長、琉球大学教授) ▽平田久夫(南部保

健所所長) ▽城間政州(城間医院院長) ▽平良恵信(平良歯科クリニック院長) ▽宮城義昇(校務研究会会長、西原南小学校校長) ▽翁長正吉(町国民健康保険運営協議会会長)

▽平良正一(JAサンライズ西原支店長) ▽呉屋定子(町商工会会長) ▽呉屋安信(町老人クラブ連合会会長) ▽宮平春子(町民生委員協議会総務) ▽呉屋實(町区長会会長) ▽与那嶺絹子(町婦人会会長) ▽小川良夫(町助役) ▽稲福恭助(町教育長)

お互いの活動内容を確認

町女団協が名瀬女団協と交流

西原町女性団体連絡協議会(長崎ノブ子会長)は、十一月五日午前、町役場二階会議室で、名瀬女性団体連絡協議



▲交流後、町役場玄関前で記念撮影(名瀬女団協と本町女団協のみなさん)

会(鹿児島県)と交流し、情報交換を行いました。

これは、名瀬女団協が名瀬女性プラン二一に基づいて行なう国内研修で、本町女団協がこれを受けて、交流会をもつことになりました。名瀬女団協の国内研修は、男女参画型社会づくりに向けて女性の地域参画についての学習と視野を広げ、自らの意欲と資質の向上を図り、職業や社会活動へ生かすことを目的としています。

双方とも役員中心の参加となり、「女性団体連絡協議会の活動内容について」、「婦人連合会との連携について」など

◆1995年農業センサスにご協力ください。

―西原町―

農林水産省では、平成7年2月1日(沖縄県は平成6年12月1日)現在で、全国の農家などを対象に「1995年農業センサス」を実施します。

この調査は、我が国の農業の実態を明らかにする最も基本的な統計調査です。調査の結果は、国や地方公共団体をはじめ各方面で農業施策推進などの基礎資料として幅広く利用されます。調査員がお伺いして、農業の経営状況などをお尋ねしますので、ご協力をお願いします。

ちよつとお知らせ

出席者二十人が活発に情報交換を行いました。町生活改善グループの手作りカステラやもちなどをつまみながら和やかな雰囲気の中で交流が繰り広げられました。

「子どもの人権110番」

(いじめホットライン)

12月12日から
スタート!

月曜日から金曜日(土、日、祝日は除く)の
午前9:00から午後5:00まで無料で電話相談に応じています。

電話 098-853-4460

沖縄県人権擁護委員連合会・那覇地方法務局
(那覇地方法務局人権擁護課内)

相談内容

- ① いじめ、体罰、登校拒否など、子どもの人権にかかわる問題について、人権擁護委員・法務局職員が、みなさんからの電話相談に応じます。
- ② 人権擁護委員・法務局職員と直接会って相談することもできます。

人権週間 12月4日～10日

- 子ども自身が人権意識を高められるような環境を
- 女性の地位を高めよう
- 国際化にふさわしい人権意識を育てよう
- 障害者の完全参加と平等を実現しよう

児童憲章

児童は、人として尊ばれる
児童は、
社会の一員として
重んぜられる
児童は、よい環境の
なかで育てられる



お知らせ
でーびる

12月



案内・募集

第4回 西原町24時間ソフトボール大会

1. 主 旨

本大会はソフトボールを愛好する者で年末・年始を楽しく24時間途切れなくプレーを継続し、地域仲間との交流を深め輝く新年を迎えると共にソフトボールの底辺拡大と親睦を図ることを目的とする。

2. 主 催

西原町24時間ソフトボール大会実行委員会

3. 共 催

西原町教育委員会、西原町体育協会

4. 日 時

平成6年12月31日(土)正午～平成7年1月1日(日)正午

5. 場 所

西原中学校グラウンド

6. 参加対象

西原町民(町内に職場を有する者含む)、中学生以上
地域団体の参加歓迎

お問い合わせ先 町民体育館 ☎945-8095

第4回 西原町新春かきぞめ大会

＝ 参加者募集 ＝

主旨 古代より新年の願いを筆に託する伝統文化を継承し、心豊かにする。

◆◆◆ 募 集 要 項 ◆◆◆

主催 西原町文化協会書道部会

後援 西原町教育委員会

日時 平成7年1月8日(日) 午前9時

会場 西原町民体育館

会費 200円(紙代)但し成人は無料、道具は各自持参

課題 自由、児童生徒は学校宿題

申込み、当日会場にて受付

◎問い合わせは

西原町文化協会書道部 ☎946-4192

12月(DEC.) 行事・祭事予定

- 2日(金)○BCG(ツ反陰性者、9:00~10:30、町中央公民館)
 ○町社協食事サービス(9日、16日、13:00、社会福祉センター)
- 3日(土)○町役場閉庁
 ○中央公民館まつり(~4日)
 ○国際親善スポーツ交流の集い(14:00、町民陸上競技場)
- 4日(日)○第10回町ゲートボール大会(9:00、町民陸上競技場)
- 5日(月)○3歳児健診(H3.8.18~H3.9.7生まれ、13:30~14:15、社会福祉センター)
- 7日(水)○西原中学校研究発表会
 ○心配ごと相談 14:00~17:00(14日、21日、28日、社会福祉センター)
- 8日(木)○DTP(24ヵ月~66ヵ月児、13:00~13:45、町中央公民館)
 ○西原南小学校研究発表会
- 10日(土)○町役場閉庁
 ○クリスマス会(14:00、西原東児童館)
 ○第4回西原町バレーボールまつり(~11日、9:00、小・中・高・大学生 西原町民体育館)
- 11日(日)○〃 (9:00、一般男女・壮年・家庭婦人 西原町民体育館)
- 15日(木)○1歳6ヵ月児健診(H5.5.7~H5.6.15生まれ、13:30~14:15、町中央公民館)
- 16日(金)○西原東中学校研究発表会
- 17日(土)○乳児一般健診(H6.7.31~H6.9.17生まれ、町中央公民館
 H6.1.31~H6.3.17生まれ、13:00~14:00)
 ○町役場閉庁
- 21日(水)○ムービーづくり(14:00、西原東児童館)
- 22日(木)○海外移住者子弟研修生修了式
- 23日(金)○天皇誕生日、町役場閉庁
- 24日(土)○町役場閉庁、2学期終業式
- 28日(水)○御用納め
- 31日(土)○第4回24時間ソフトボール大会(12:00、西原中学校)

1月(JAN.) 行事・祭事予定

- 4日(水)○御用始め
- 5日(木)○心配ごと相談 14:00~17:00(11日、18日、25日、社会福祉センター)
- 6日(金)○3学期始業式
 ○町社協食事サービス(13日、20日、27日、13:00~16:00、社会福祉センター)
- 7日(土)○町役場閉庁
- 8日(日)○新春トリムマラソン大会(9:00、西原小学校)
- 11日(水)○離乳食実習(乳児、13:30、町中央公民館)
- 12日(木)○DPT(24ヵ月~66ヵ月児、13:00~13:45、町中央公民館)
- 13日(金)○研究発表会(坂田小学校)
 ○3歳児健診(H3.9.8~H3.10.4生まれ、13:30~14:15、社会福祉センター)
- 14日(土)○町役場閉庁
 ○お楽しみ映写会
- 15日(日)○成人の日、成人式(9:00、町民体育館)

※都合により日程変更することもあります。

保留地処分(土地売却)のお知らせ!

那覇広域都市計画事業上原棚原土地
 画整理事業の平成6年度第1回保留地
 処分の公開抽選を平成6年12月18日(日)午前
 10時に西原町社会福祉センター(大広間)
 で行います(なお、詳細は12月1日配布の
 チラシをご覧ください。)

※お問い合わせ先 区画整理課 ☎945-4415

「平和の礎」に刻銘するための
戦没者名簿の

「再縦覧」を行います

- 期間…平成6年12月6日まで(土、日を除く午前8時
30分から午後5時まで。但し、午後0時から午
後1時までには休憩時間のため縦覧できません)
- 場所…西原町役場 福祉課 (お問い合わせ先 ☎945-5311)

▼字嘉手苅百十六番地の二、玉
城祐政さんが、母ふじさんのカ
ジマヤー祝を記念して西原町社
会福祉協議会へ十二万円、町人
材育成会へ十二万円。

▼字池田百六十九番地、島袋カ
ミさんが、カジマヤー祝を記念
して西原町社会福祉協議会へ二
十万円。

▼字小那覇百十一番地、新川フ
ミさんが、故夫善吉さんの香典
返しとして西原町社会福祉協議
会へ五万円。

▼字我謝百七十八番地、宮平栄
吉さんが、故父亀助さんの香典

返しとして西原町社会福祉協議
会へ十万円。

▼字我謝七百六十二番地、正木
徹さんが、故祖母真境名ナベさ
んの香典返しとして西原町社会
福祉協議会へ五万円。

▼字津花波百八十五番地、呉屋
善盛さんが、故妻マサエさんの
香典返しとして西原町人材育成
会へ五万円。

▼字桃園百九番地、東部ロータ
リークラブ(代表 古謝将吉)が、
青少年の健全育成に役立ててと
西原町人材育成会へ五万円。

寄付・香典返し

(ありがとうございました)



シニア・フォレスト

一九九一年七月、世界四十
 一か国、百七十八人の森林管理・
 経営の担当責任者を集めて、横
 浜で開催された「シニア・フォ
 レスト・会議」を契機に生まれ
 た言葉。同会議のフォローアッ
 プ・セミナーが回を重ねるに従
 い、森林・林業に関する行政機
 関、試験研究機関、大学などの
 管理職担当の技術者・研究者の
 意味で広く使われる言葉となっ
 ています。

世界の森林面積(約四十億ヘ
 クター)の約四割を占めてい
 る熱帯林は、不適切な移動をし
 ながらの焼畑による耕作、牛や
 馬などの放牧のし過ぎ、薪や炭
 を生産する木々の伐採のし過ぎ
 などにより、毎年約千五百万ヘ
 クターが減っています。林野
 庁長官の私的諮問機関である熱
 帯林問題に関する懇談会は、こ
 の問題を解決するため、世界各
 国で森林管理の責任を担うフォ
 レストが技術的な観点から長
 期的な対応戦略を追求し、行動
 すべきであるという緊急開催を
 提言しました。「シニア・フォレ
 スター会議」は、この提言を受
 けて開催されたものです。

わたしたちは、スポーツに親しみ、健康の増進につとめましょう (町民憲章)